

製造業及び物流関連企業による 「沖縄力発見ツアー2016」

～沖縄への投資促進や新たな産業の創出・振興を目指して～



【総務部・
経済産業部】

内閣府では、2月9日から2月10日にかけて、県外の製造業及び物流関連企業の代表者等の方々に沖縄の豊かな地域資源や優れたビジネス環境等を実感していただく、「沖縄力発見ツアー2016」を実施しました。

今年度3回目となる今回のツアーでは、県外の製造業及び物流関連企業12社が参加し、那覇空港貨物ターミナルビル、那覇港国際コンテナターミナル等の国際物流拠点施設の視察や、沖縄ライフサイエンス研究センターなどの視察を行うとともに、本土から沖縄県に進出した製造業2社からのプレゼンテーション及び意見交換等を行いました。

ワーキング・ディナー

2月9日には、県外から参加された企業の方々、県内経済界関係者、沖縄県庁及び武川内閣府審議官を始めとする内閣府関係者が一堂に会し、ワーキング・ディナーを開催しました。

各参加者は、県内企業、大学・研究機関や業界団体等との情報交換を行い、相互の交流を深めました。



ワーキングディナーの様子

視察

今回のツアーでは、那覇空港貨物ターミナルビル（ANA）、国際ロジスティクスセンター4号棟及び那覇港国際コンテナターミナル等、沖縄国際物流ハブの中心となる施設の視察を行いました。

アジアの中心に位置する沖縄県は、その地理的優位性及び24時間の

通関体制により、深夜に那覇空港に届いた貨物を翌朝にはアジア主要都市へ配送することが可能となっています。

参加者は、各施設において沖縄国際物流ハブの概要や今後の方針について説明を受けたほか、実際に貨物の積み替えが行われる貨物上屋内や港湾の視察を行うなど、沖縄の物流拠点としての可能性を実感していただきました。



視察の様子

企業立地プレゼンテーション

沖縄IT津梁パーク内において、本土から沖縄県に進出した企業2社（株式会社ナノシステムソリューションズ、三鷹光器株式会社）から沖縄でのビジネス



沖縄県経営者協会 安里会長

展開におけるメリットや課題等についてプレゼンテーションをしていただきました。

ツアー参加者からの声



武川内閣府審議官挨拶

ツアー参加者との活発な意見交換を行いました。

ツアー参加者からは、

・具体的対象はリサーチ中であるものの成長著しい沖縄の経済発展の流れを肌で実感いたしました。何とかビジネスチャンスを探して地域貢献したいと強く感じました。
・今後、沖縄での事業拡大に役立つ情報、大きな変化を感じました。
・沖縄地区のお取引の発展に協力・寄与出来るよう、会社をより成長させたいと思いました。

・県外、海外への輸出という点で、沖縄の素材、原料を活かした健康、美容分野の商品開発に、大きな潜在力があると思います。

・沖縄ー本土間における物流コストが一番の課題であり、各分野が協力してコストを抑える施策を考えていただきたい。

といった意見がありました。
内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーでいただいた様々な方々のアドバイス、御指摘を今後の取組に活かしていきたいと考えています。

総務部総務課

098-866-0044